

菓子と人の一生

区分	解説	使用する菓子
着帯の祝	妊娠5ヶ月目のいぬ(戌)の日に着帯を行う。犬のように軽くすむようにとの意からこの日が選ばれている。	紅白餅、赤飯 紅白つるの子もち
出産祝	お七夜	赤飯、つるの子餅
	お宮参り	つるの子餅、紅白饅頭、赤飯、長崎カステラ、小倉ロール
初節句	ひなの節句	菱餅、草餅、桜餅、ひなあられ、引菓子(二ツ盛、三ツ盛、五ツ盛)
	端午の節句	柏餅、ちまき、小倉ロール、引菓子(二ツ盛、三ツ盛、五ツ盛)
満1才の誕生祝	誕生もちを1升もちにつきあげ丸型にして紅で寿の文字を書き風呂敷に包んで幼児に背負わせる。	赤飯、力餅
七五三の祝	男子は3才と5才、女児は3才と7才に毎年11月15日を吉例としてお祝する。昔は男女とも3才を“髪置きの祝”男子の5才を“はかま着の祝”女子の7才を“帯ときの祝”として、うぶすな神に参り、子の成長を祈願した。	赤飯、千歳あめ、つるの子餅、引菓子(二ツ盛、三ツ盛、五ツ盛)、紅白小麦饅頭、長崎カステラ、他
入学祝	幼稚園から大学までの学の喜びを祝う。	赤飯、つるの子餅、小倉ロール、引菓子(二ツ盛、三ツ盛、五ツ盛)長崎カステラ、他
卒業祝	学校や家族も祝ってくれるが、本人もお世話になった人達にお礼する。	赤飯、紅白饅頭、小倉ロール、長崎カステラ、他
就職祝	友人、知人などお世話になった人達、お祝いを頂いた人にお礼する。	赤飯、つるの子餅、小倉ロール、長崎カステラ、他
成人祝	1月15日、満20才を迎えた人の門出を祝う。	赤飯、つるの子餅、紅白饅頭、引菓子(二ツ盛、三ツ盛、五ツ盛)、小倉ロール、長崎カステラ 他
結婚祝	結ばれた男女が晴れの人生の新出発をする大切な儀式である。	引菓子(二ツ盛、三ツ盛、五ツ盛)、紅白饅頭、赤飯、つけこ、小倉ロール、長崎カステラ、他
誕生祝	友人、知己を招いて内祝をする。	赤飯、お菓子折、小倉ロール、長崎カステラ 他
賀の祝	還暦祝	紅白つるの子餅、最中、羊かん、小倉ロール、長崎カステラ、引菓子(二ツ盛、三ツ盛、五ツ盛)、他
	古希祝	
	喜寿祝	
	米寿祝	
	白寿祝	

手づくり
和菓子
瓦
屋

電話 〇五五・二八四・二二〇〇
FAX 〇五五・二八四・二七五〇

区分	解説	使用する菓子	
快気祝	病氣全快したら内祝としてお見舞を頂いた人へ返礼する。	赤飯、つるの子餅、力餅、最中折、紅白饅頭、小倉ロール	
上棟祝	家の骨組みが出来たのを祝って大工、トビ職、知人に祝酒をふるまい、子供にもち等を投げる。	赤飯、お供え、投げ餅、菓子折、四方餅、カステラ、他	
新築祝・開店祝	親戚、知人を招いてお祝をする。	赤飯、紅白餅、つるの子餅、引菓子(二ツ盛、三ツ盛、五ツ盛)小倉ロール、長崎カステラ、他	
病氣見舞・産婦見舞	滋養のあるものを送り元気つける。	長崎カステラ、小倉ロール、菓子折、最中、他	
会合・訪問	会合の際の茶菓子、訪問先への土産	和菓子全般、小倉ロール、長崎カステラ、菓子折、最中折、他	
結婚記念日	1年目=祇婚、5年目=木婚、10年目=金婚、12年目=波婚、15年目=水晶婚、20年目=陶器婚、25年目=銀婚、30年目=象牙婚、40年目=毛織婚、45年目=絹婚、50年目=金婚、60年目=ダイヤモンド婚	赤飯、つるの子餅、祝和菓子(二ツ盛、三ツ盛、五ツ盛)、最中、小倉ロール、長崎カステラ、他	
十五夜・十三夜	古来陰暦の満月の日が季節の折れ目の中心で、重要な行事が行われてきた。8月は仲秋の名月とたたえられ、田畑の収穫物を供え、自然と恵みと先祖の労苦への感謝を表わす生産生活と深く結びついた行事である。十五夜=陰暦8月15日、十三夜=陰暦9月13日。	月見だんご	
お正月	年の始めを祝い、一年の無事息災を祈る。	のし餅、お供え餅、切餅、豆餅	
厄除	数字の陰陽の組合せ等から男子25才と42才、女子19才と33才を厄年としてこれを忌むといわれている。親戚、友人を招いて厄除けをしたり、神仏に祈願等する。	だんご	
仏事要	通夜	親戚、縁者、友人が集まり、故人をしのんで冥福を祈る。	盛菓子、最中、茶菓子、他
	葬礼	当日は宗派の儀式により手厚く葬られる。	最中、おはぎ、他
	膳上げ	俗界をはなれて、仏弟子となるように行う儀式	小麦饅頭、最中、長崎カステラ、おはぎ、つけこ、小倉ロール
	法要	初七日、21日、35日、49日、百ヶ日、3回忌、7回忌、13回忌、23回忌、27回忌、33回忌、37回忌、50回忌、100回忌	小麦饅頭、最中、長崎カステラ、おはぎ、つけこ、小倉ロール、他
彼岸	転迷開悟して得る世界を彼岸とするいわれから、春分の日及び秋分の日前後7日間行なわれる。自然を称え生物をいっくしみ祖先を敬い、感謝と報恩をこめて墓参する。	おはぎ、小麦饅頭、最中、他	
お盆	先祖の冥福士の苦患を救い、存生の繁栄を祈る行事で7月13日~15日(旧暦又は1月おくれ)まで行う。	あべ川餅、饅頭、他	

○ その他各行事等について御相談いただければ御調整いたします。